

2024年12月期 第2四半期(中間期)

---

決算補足説明資料

---



株式会社テクノフレックス  
証券コード:3449

- ✓ 本資料に記載された将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき作成されたものであり、将来発生する様々な要因により、異なる結果となる可能性を含みます。
- ✓ 2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しております。
- ✓ 2021年12月期以前の実績は「収益認識に関する会計基準」を適用する前の数値を記載しております。
- ✓ 2022年4月1日付で、連結対象の完全子会社「株式会社アクアリザーブ」と合併いたしました。これに伴い、2022年12月期 第2四半期から、「防災用貯給水タンク」の業績を「防災・工事事業」から「継手事業」にセグメント変更しております。そのため本資料では、セグメント変更後の数値を、参考情報として記載しております。

## 1. 2024年12月期 第2四半期(中間期)決算概要

## 2. 2024年12月期 業績予想

## 3. 配当金について

## 4. TOPICS

## 5. 決算説明動画のご案内

(補足資料)

テクノフレックスの概要



▲ 4月に竣工した新千葉工場(第1工場)

---

# 1. 2024年12月期第2四半期(中間期)決算概要

---

## ◆ 連結業績(前年同期比・計画比)

|                        | 連結業績     |          | 前年同期比<br>(伸長率) |       | 計画比       |        |          |       |
|------------------------|----------|----------|----------------|-------|-----------|--------|----------|-------|
|                        | 2023_中間期 | 2024_中間期 |                |       | 中間期計画/達成率 |        | 通期計画/進捗率 |       |
| 連結売上高                  | 10,620   | 10,318   | ▲301           | ▲2.8% | 10,900    | 94.7%  | 23,000   | 44.9% |
| 連結営業利益                 | 846      | 1,034    | 188            | 22.2% | 950       | 108.9% | 2,300    | 45.0% |
| 親会社株主に帰属する<br>中間/当期純利益 | 535      | 615      | 79             | 14.9% | 600       | 102.5% | 1,500    | 41.0% |

## ● 連結売上高

- ✓ 真空機器の海外売上が、米国と中国を中心に増加したこと等から、主力の継手事業が2Qで増収に転じましたが、ロボット向け金属部品の売上が、前期下期から続く大口顧客の在庫調整により減少したことから、自動車・ロボット事業が減収となったため、連結売上高は減収となりました。

## ● 連結営業利益

- ✓ 主力の継手事業が2Qで増益に転じたこと、防災・工事事業の利益率が改善したこと等から、前年同期比 22.2%増、中間期計画の達成率 108.9%となりました。

## ● 親会社株主に帰属する中間純利益

- ✓ 連結営業利益の回復により、前年同期比 14.9%増、中間期計画の達成率 102.5%となりました。

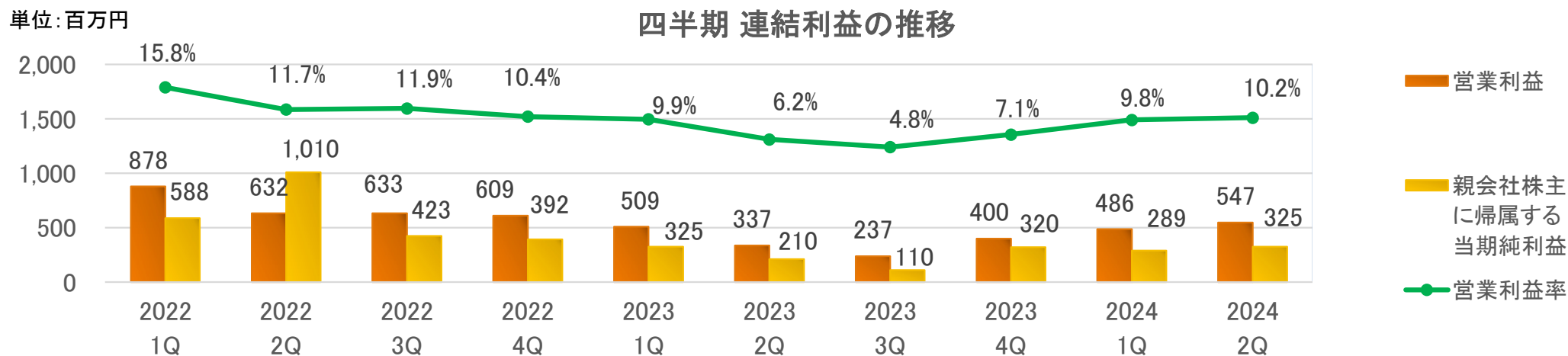
## 2024年12月期 第2四半期(中間期) 連結業績 2 四半期業績の推移



### 四半期 連結売上高の推移



### 四半期 連結利益の推移

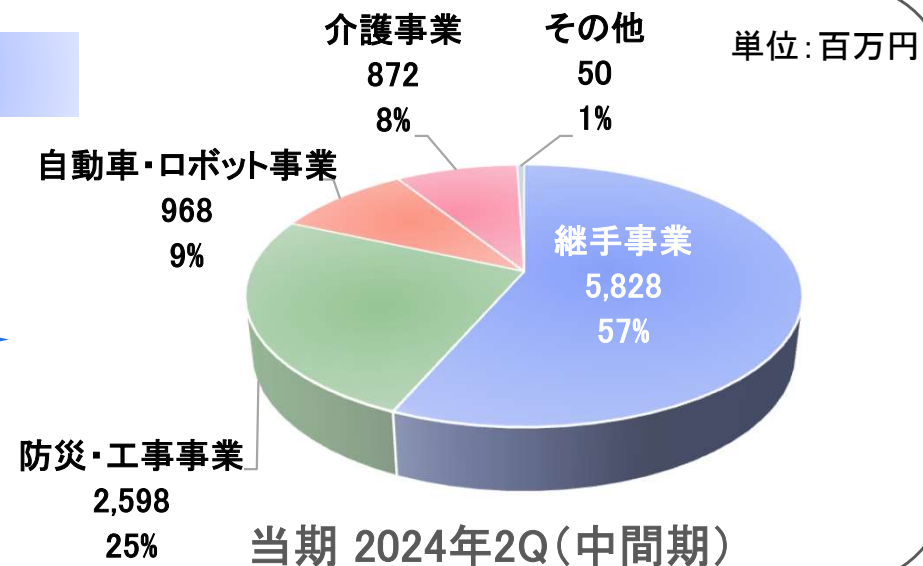
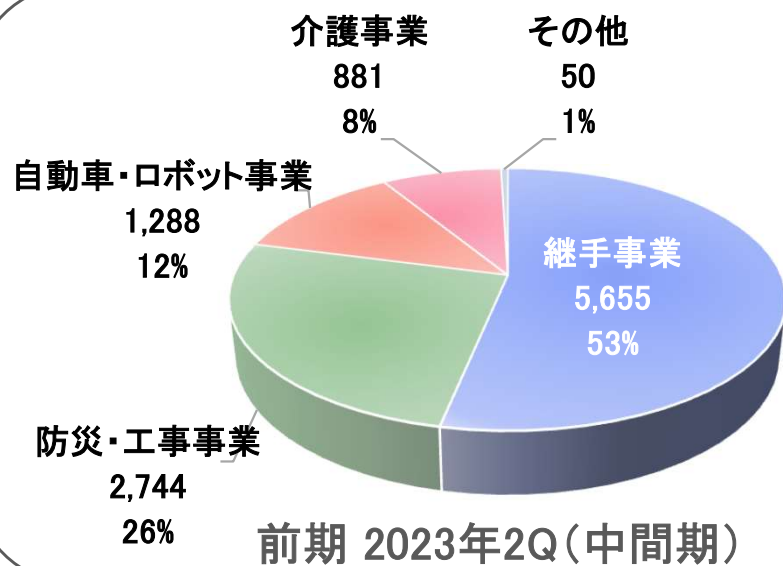


- 四半期業績は、半導体工場の設備投資や再開発事業といった大型案件の売上を計上するタイミングによって、大きく変動します。
- 2022年2Qの親会社株主に帰属する四半期純利益が大きいのは、連結子会社であった(株)アクアリザーブの吸収合併に伴う税効果によるものです。
- 為替影響や物価高騰等から、連結営業利益率が前期 3Qに 4.8%まで下落しましたが、利益率改善に努めたことで、当期 2Qは 10.2%まで改善しました。

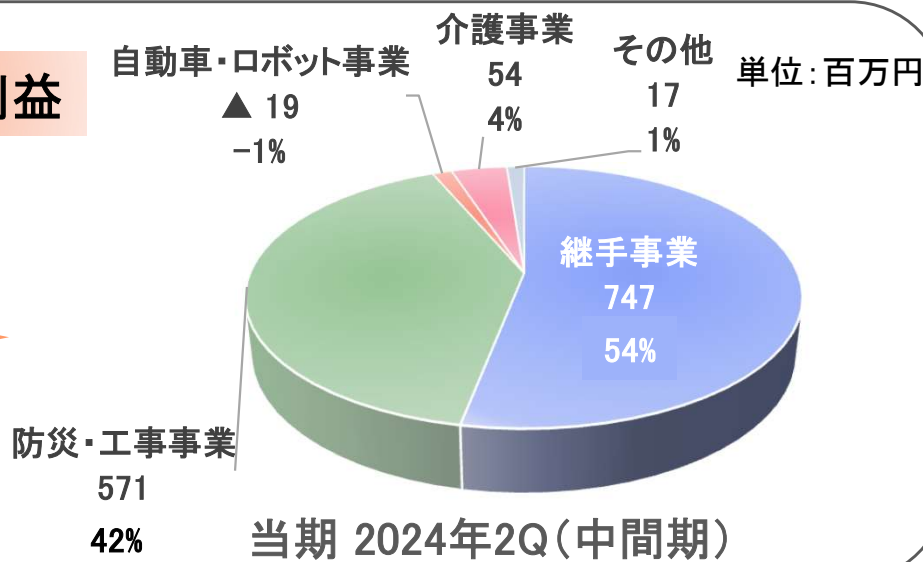
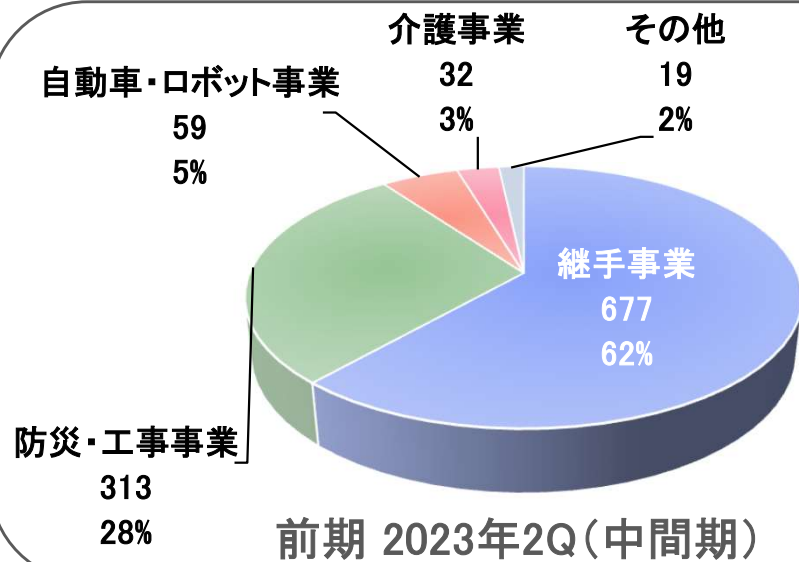
# 2024年12月期 第2四半期(中間期) セグメント構成比



## 売上高



## セグメント利益

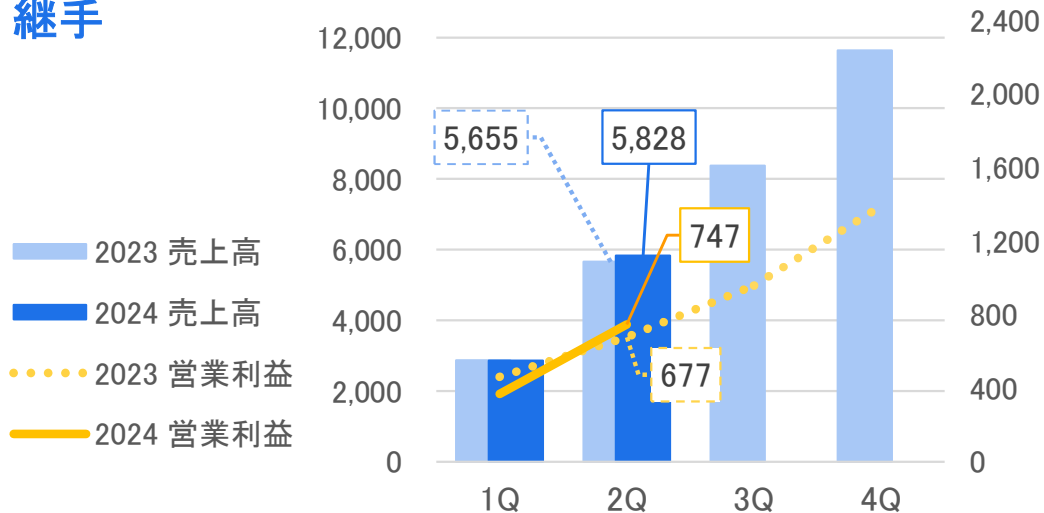


# 2024年12月期 第2四半期(中間期) セグメント業績 前年同期比(累計)

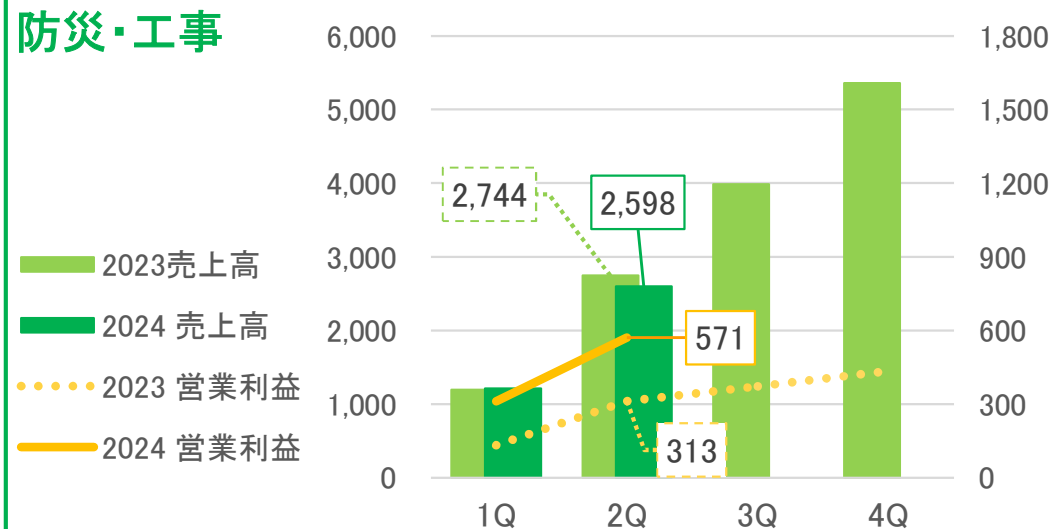


単位:百万円

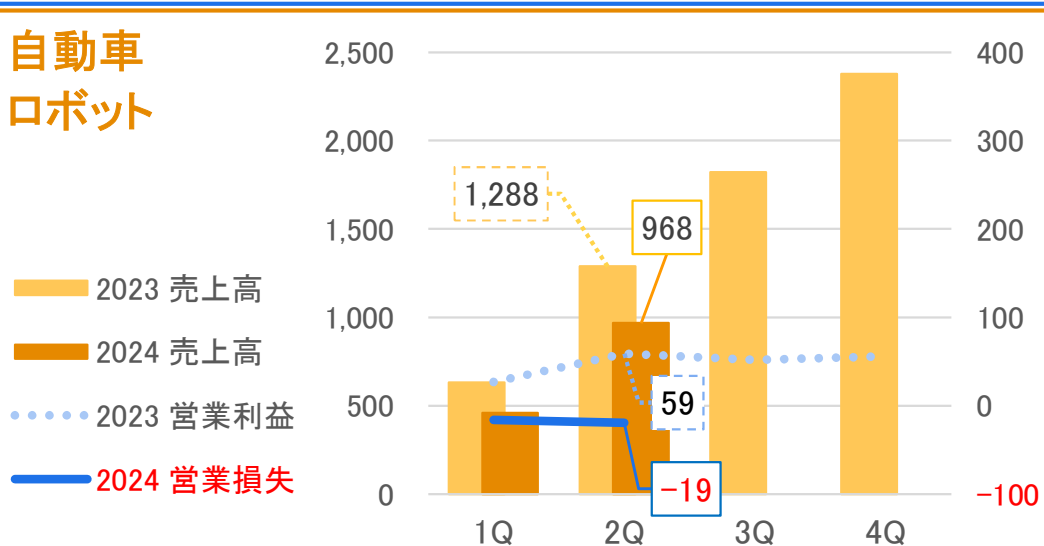
## 継手



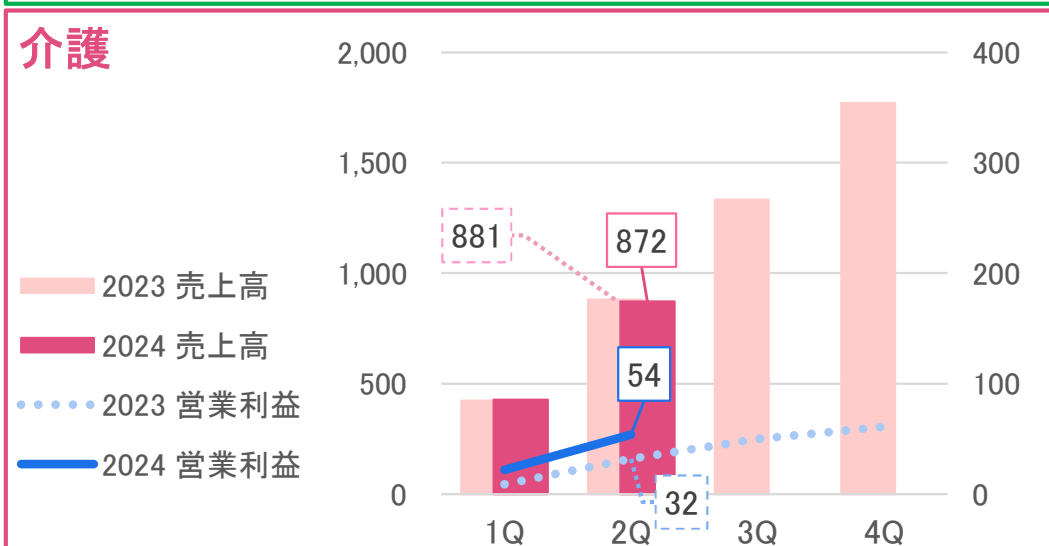
## 防災・工事



## 自動車 ロボット



## 介護



- 自動車・ロボット事業は、前期後半から大口顧客による在庫調整の影響で売上高が減少しており、営業損失を計上しました。
- 主力の継手事業が、2Qで増収増益に転じました。防災・工事業業は、営業利益率が大幅に改善しました。



## ◆ 継手事業

### 売上高の推移



### 営業利益の推移



■ 売上高 5,828百万円 (前年同期比 +173百万円、 +3.1%)

■ 営業利益 747百万円 (前年同期比 +70百万円、 +10.3%)

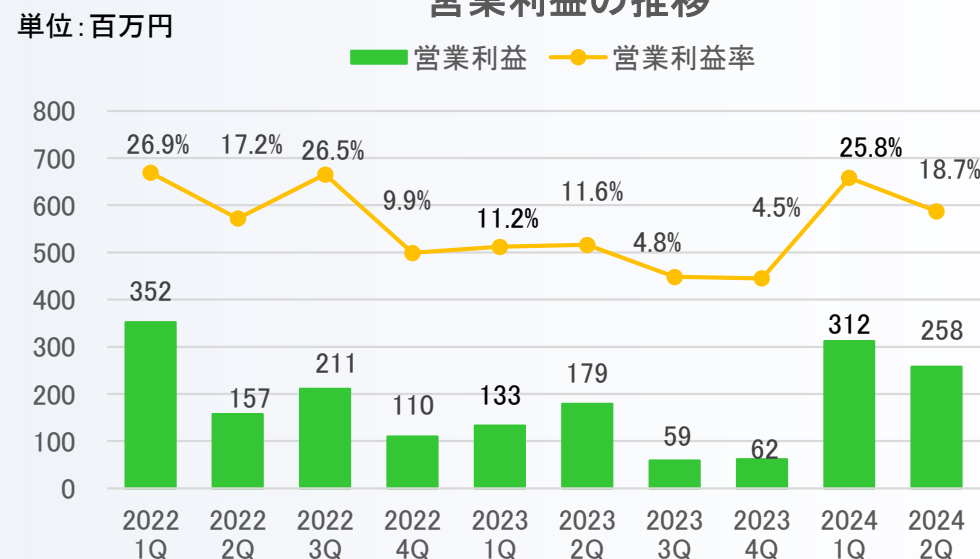
- 海外半導体市況の回復により、真空機器の海外売上が米国と中国向けを中心に増加し、2Qで前年同期比が増収増益に転じました。
- 営業利益率の低下は前期 2Qに底を打ったものの、円安による海外からの仕入価格の高騰が長期化しており、利益面では厳しい状況が続いております。

◆ 防災・工事事業

売上高の推移



営業利益の推移



■ 売上高 2,598百万円 (前年同期比 ▲145百万円、▲5.3%)

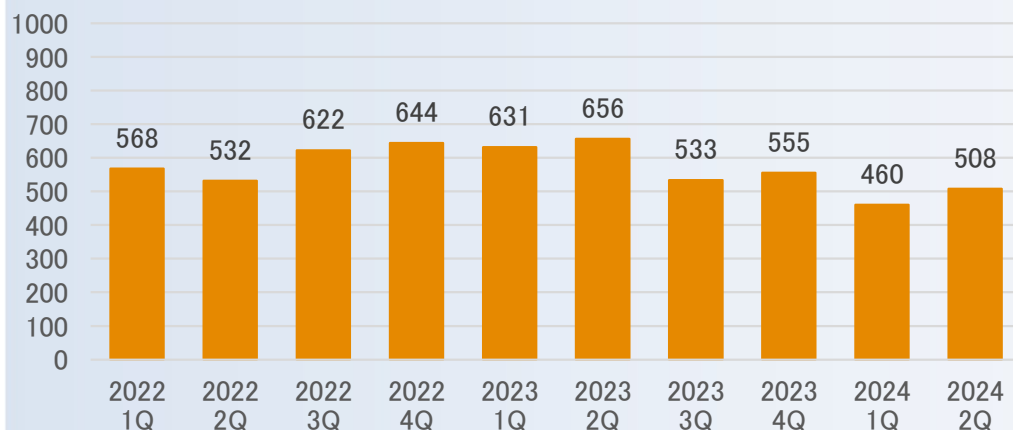
■ 営業利益 571百万円 (前年同期比 +258百万円、+82.4%)

- 消防設備工事では、前期は不採算案件により利益率が低下していたのに対し、当期は不採算案件が発生せず、利益率の高い大型案件を売り上げたことから、営業利益率が回復しました。
- 2Q後半に、北海道で建設中の半導体工場で、大規模な消防設備工事が開始されました。着工から間もないため、中間期時点での売上計上は部分的であり、3Q以降の業績に貢献する見込みです。

◆ 自動車・ロボット事業

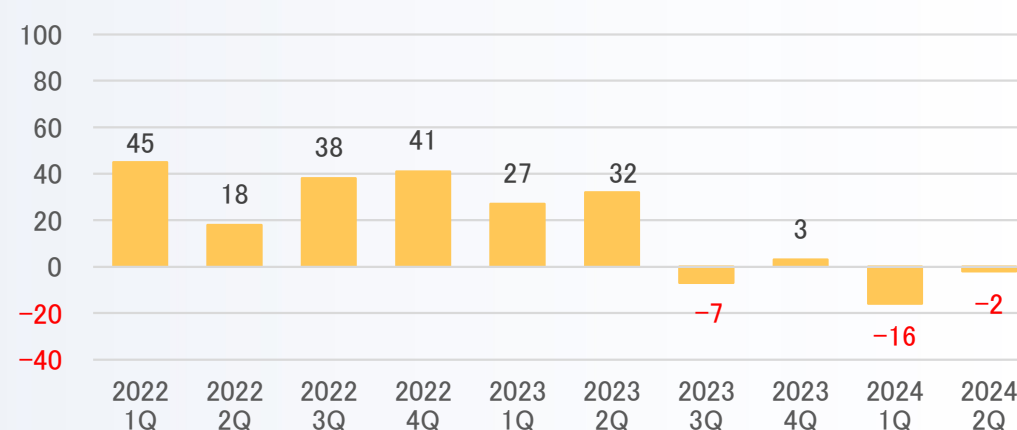
売上高の推移

単位:百万円



営業利益の推移

単位:百万円

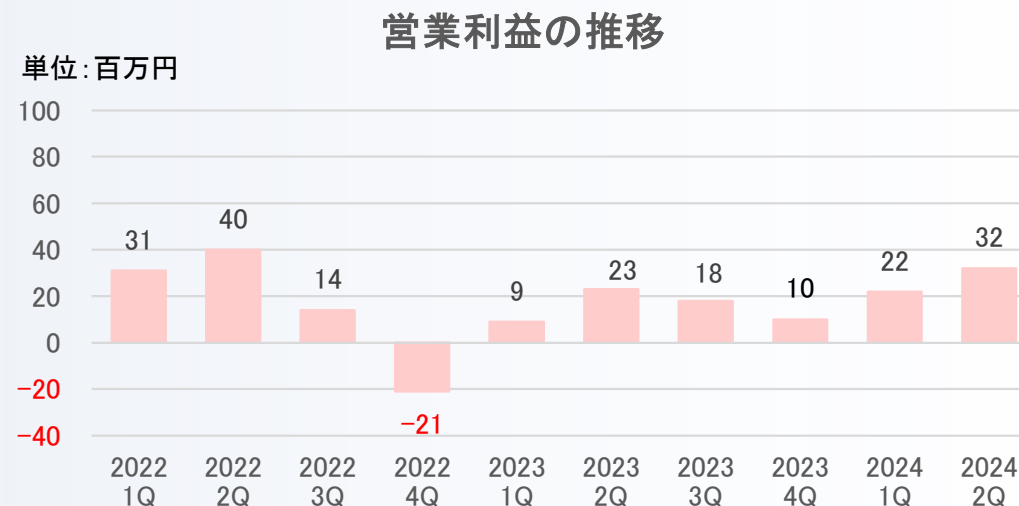
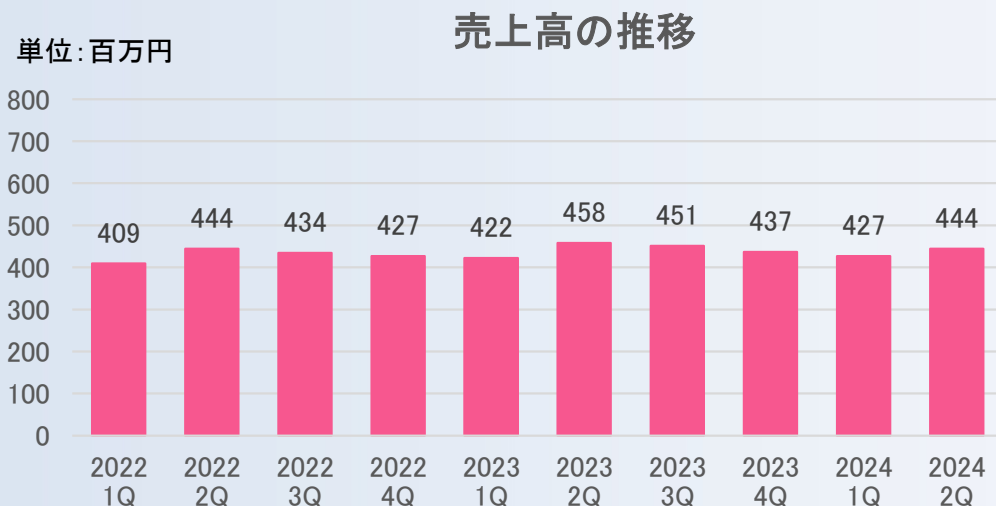


■ 売上高 968百万円 (前年同期比 ▲320百万円、▲24.9%)

■ 営業損失 19百万円 (前年中間期の営業利益 59百万円)

- ロボット向け金属部品の売上高が、前期下期から続く大口顧客の在庫調整により、大幅に減少しています。
- ロボット向けの金属部品は利益率が高いため、減収に伴う減益影響が大きく、当中間期は、19百万円の営業損失を計上いたしました。
- 前期の中間期までは業績好調であったため、前年同期比で大幅な減収減益となりました。

◆ 介護事業



■ 売上高 872百万円 (前年同期比 ▲8百万円、▲0.9%)

■ 営業利益 54百万円 (前年同期比 +22百万円、+68.1%)

- 売上高は、前年同期比で微減でしたが、営業利益は68.1%増となりました。
- 前期は、事業買収の費用を計上したため、1Qの営業利益が少ないのに対し、当期は、レンタル在庫のコスト削減効果で利益率が改善されたこと等から、前年同期比で増益となりましたが、原価高騰による負担は継続しており、先行きは不透明な状況であります。

---

## 2. 2024年12月期 業績予想

---

## 2024年12月期連結業績予想 SUMMARY



### ◆ 連結業績予想

単位：百万円

|                     | 中間期         |                 | 通期          |                |
|---------------------|-------------|-----------------|-------------|----------------|
|                     | 2023年<br>業績 | 2024年<br>予想     | 2023年<br>業績 | 2024年<br>予想    |
| 連結売上高               | 10,620      | 10,900 ( +2.6%) | 21,242      | 23,000 (+8.3%) |
| 連結営業利益              | 846         | 950 ( +12.3%)   | 1,482       | 2,300 (+55.1%) |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 535         | 600 ( +12.0%)   | 966         | 1,500 (+55.2%) |

#### ● 連結売上高

- 半導体市況の回復から、上期は、米国・中国を中心に海外向け真空機器(継手事業)の売上が増加しました。海外に遅れて、国内の半導体市況も回復する見込みです。
- 北海道で建設中の半導体工場に関しては、2Q後半に着工した消防設備工事(防災・工事事業)が下期に完成予定であること、来期、工場に設置される装置向けに、真空機器の出荷が下期に増加する見込みであることから、下期の売上に貢献するものと思われれます。

#### ● 連結営業利益

- 真空機器の売上高回復と、営業利益率の回復により、増益となる見込みです。

#### ● 親会社株主に帰属する当期純利益

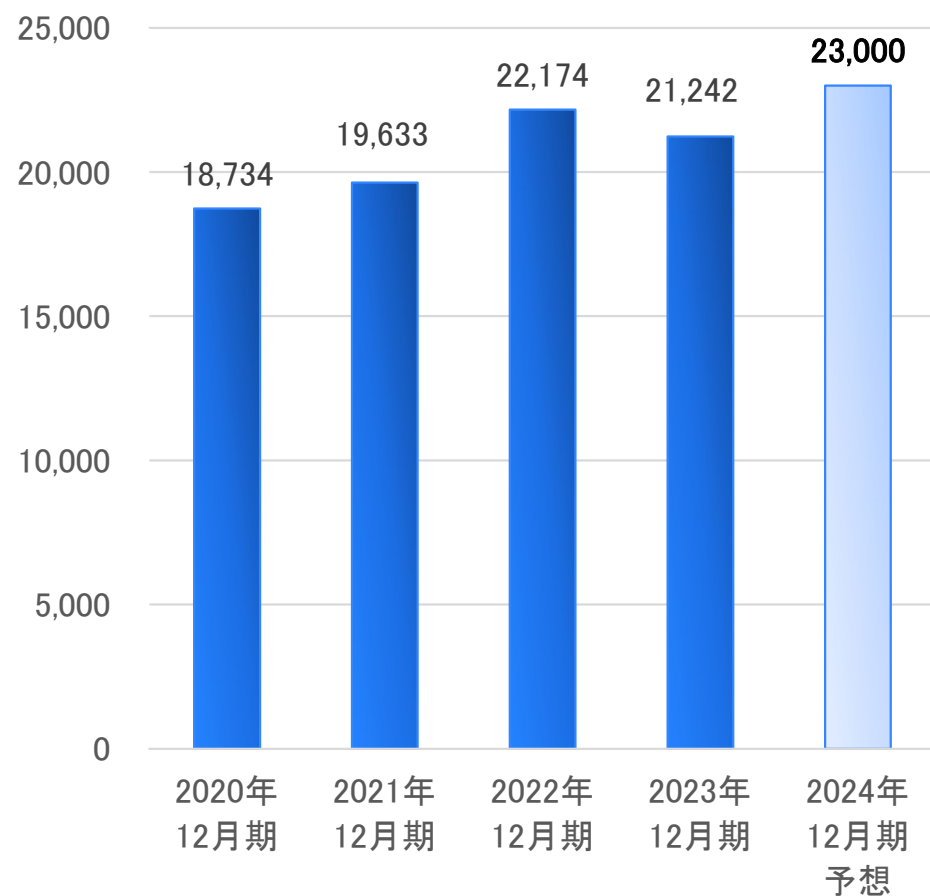
- 営業利益の回復により、親会社株主に帰属する当期純利益が回復する見込みです。

## 2024年12月期連結業績予想(直近4年間の実績と比較)



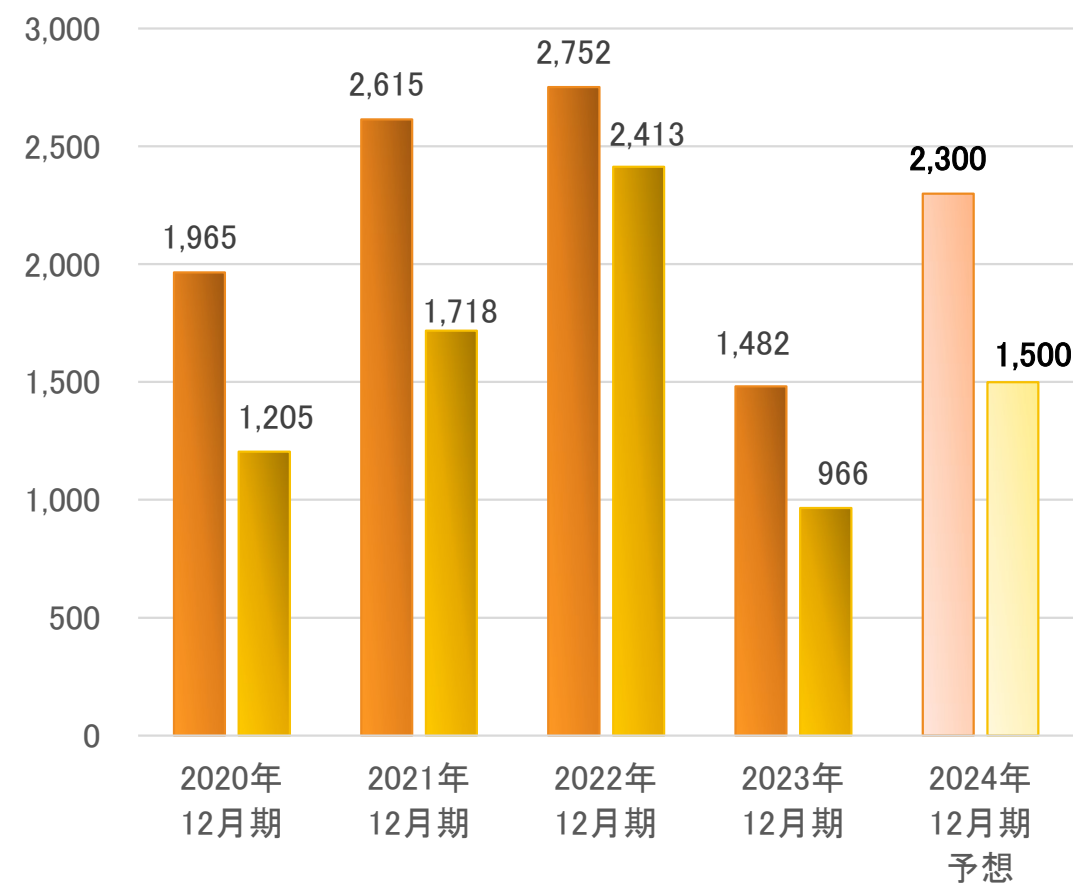
単位:百万円

### 連結売上高



単位:百万円

### 連結営業利益 親会社株主に帰属する当期純利益



### ◆ 継手事業

- 海外の半導体市況(主に米国、中国)が回復していることから、国内の半導体市況も遅れて回復し、国内向けの真空機器の業績が改善する見込みです。
- 北海道で建設中の半導体工場では、来期初旬から装置の設置が始まるため、年内から装置向け真空機器の売上高が、増加する見込みです。

### ◆ 防災・工事事業

- 北海道の半導体工場では、消防設備工事が年内に完成し、下期業績に寄与する見込みです。
- 不採算案件の発生防止に努め、引き続き利益率向上に取り組んで参ります。

### ◆ 自動車・ロボット事業

- 自動車分野は、堅調に推移する見込みです。
- ロボット分野は、在庫調整局面が続いており、売上高の回復には、時間が掛かるものと予想しております。

### ◆ 介護事業

- レンタル在庫のコスト削減効果により、利益率向上が進む見込みですが、原価高騰による負担が継続し、先行きは不透明な状況と思われます。



---

### 3. 配当金について

---

## 中間配当と 期末配当予想について



| (基準日)  | 1株あたり配当金(円)           |                        |            |
|--------|-----------------------|------------------------|------------|
|        | 中間配当金<br>(2024年6月30日) | 期末配当金<br>(2024年12月31日) | 合計(年間配当予想) |
| 当期の配当額 | 27円00銭                | 27円00銭(予想)             | 54円00銭(予想) |
| 前期の配当額 | 27円00銭                | 27円00銭                 | 54円00銭     |

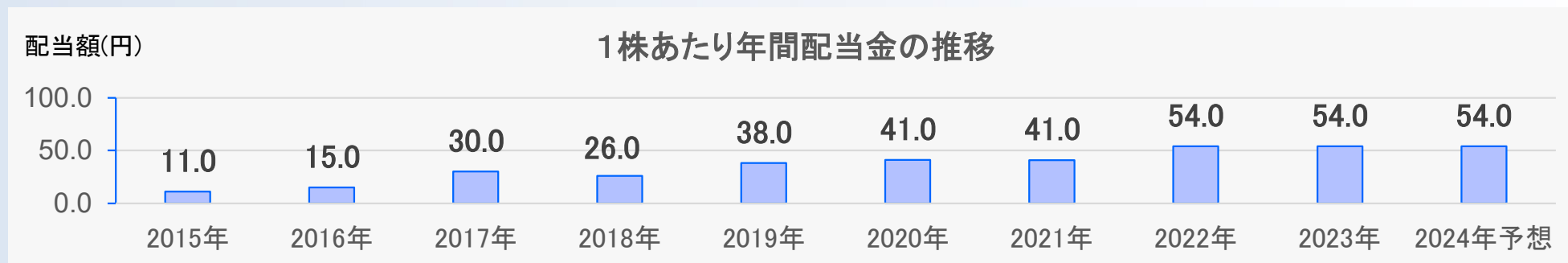
### ◆ 中間配当について

当期(2024年12月期)の中間配当金は、当期の業績および中長期的な事業展開等から総合的に判断し、期初の配当予想のとおり、1株当たり27円00銭といたしました。お支払い開始日は、2024年8月16日を予定しています。

### ◆ 期末および年間の配当予想について

当社は、株主様への利益還元について、安定的かつ継続的に実施することを重要な経営課題と認識し、経営環境、業績の推移、長期的な事業展開と財務体質・収益基盤の強化、及び内部留保の充実等を総合的に勘案したうえで決定し、安定的かつ継続的な配当を基本方針としています。

当期は、厳しい事業環境ではありますが、期末および年間の配当金につきまして、期初に公表した配当予想の通り、1株当たり期末27円00銭(年間54円00銭)を予定しています。



※ 2017年度の配当額30円は、創立40周年記念配当3円を含みます。

---

## 4. TOPICS

---

## 新千葉工場建設の効果と操業予定



- ◆ 本年4月に建替え工事が完了した新千葉工場(千葉第1工場, 千葉県船橋市)では、操業に向け準備を進めております。
- ◆ 建替え工事により、複数の低層工場(1~3階建て)が密集していた場所に、柱の少ない大空間を有する5階建ての新工場が誕生しました。これを活用し、作業効率と生産能力の向上を図ります。
- ◆ 海外工場に依存していた部品や半製品の製造を、新工場へ移管します。これにより、海外工場からの輸送費と、輸送時のCO2排出量を削減します。更に、納期の短縮と国内在庫の圧縮、為替影響の緩和にも効果を発揮する見込みです。
- ◆ 最新の製造設備を導入し、製造効率が格段に向上します。
- ◆ 本年9月から段階的に操業を開始する予定であり、操業の効果は、来期以降現れてくるものと思われまます。



▲ 最新の技術により、柱の少ない大空間が誕生しました。

### ■ 新千葉工場(千葉第1工場)の概要

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| ➤ 竣工          | : | 2024年4月   |
| ➤ 面積・階層       | : | 延床面積約17,000 m <sup>2</sup> (約5,000 坪)<br>地上5階建(一部中2階)           |
| ➤ 千葉工場全体の延床面積 | : | (工事前)約15,000m <sup>2</sup> から<br>(工事後)約26,000m <sup>2</sup> に拡張 |
| ➤ 設計・施工       | : | (設計)株式会社JFE設計<br>(施工)大成建設株式会社                                   |



▲ 新千葉工場(千葉第1工場)の外観。 ▲

- ◆ 現在、北海道千歳市で、最先端半導体工場の建設が進んでおり、今後、北海道では半導体関連市場の成長が見込まれています。
- ◆ 発表によりますと、建設中の第1工場は2025年に稼働開始予定、第2工場、第3工場の建設予定もあり、投資総額は5兆円規模、事業が成功した場合の北海道にもたらす経済効果は18兆8,000億円と試算されています。
- ◆ 昨年、当社は、北海道における半導体関連産業の発展に資するため、北海道苫小牧市に事業用地を取得し、敷地の一部に北海道工場を建設することにいたしました。本年6月に着工し、7月には杭打ち工事が完了しました。完成は、本年11月の予定です。北海道工場の概要は、下記の表に記載しております。
- ◆ 北海道工場は、配管工事業を担う子会社の(株)TFエンジニアリングとニトックス(株)(共に防災・工事セグメント)が、半導体工場等の工事現場に搬入する前の配管部材にプレハブ加工を行う加工工場兼倉庫として使用します。
- ◆ 残りの敷地には、更に大きな工場の建設が可能であり、将来的には、北海道における半導体関連産業の成長に応じて、半導体工場向けの真空機器等を製造する当社の工場を建設する構想もございますが、現時点で計画は未定です。

## 北海道工場の概要

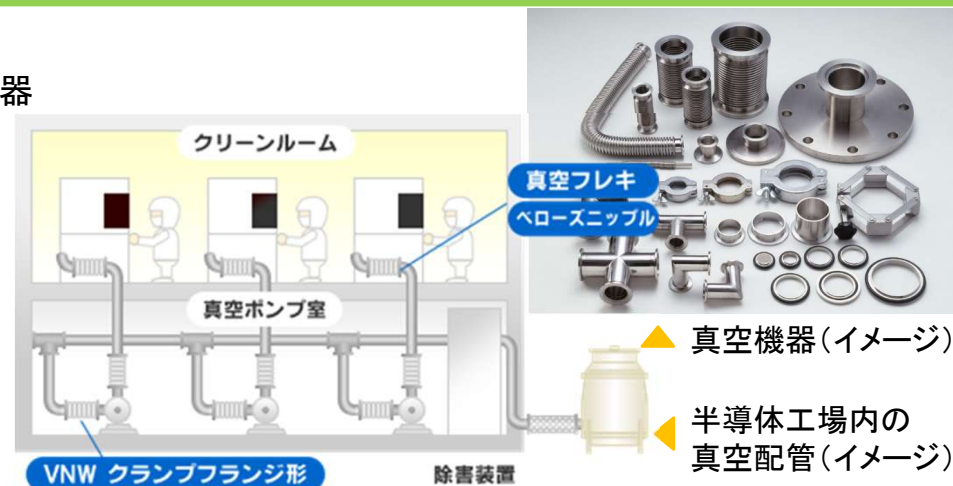
|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 建設地       | 北海道苫小牧市(苫小牧東部地域)          |
| 敷地面積／取得価額 | 約7,100㎡(約2,150坪)／約6,500万円 |
| 計画建物      | 鉄骨造平屋建／約1,300㎡(約400坪)     |
| 建設費用      | 約3億1,000万円(税抜・設計費用含む)     |
| 資金計画      | 現金および借入金等                 |
| 工期        | 2024年6月着工～11月完成           |
| 設計／施工会社   | 株式会社内池建設(北海道室蘭市)          |



▲ 建設中の北海道工場(イメージ)。

## ◆ 当社グループ3社が展開する北海道における半導体関連事業

- (株)テクノフレックス (当社)
  - ・ 真空フレキ等の半導体製造装置向け真空機器 (真空配管の部材)の製造・販売業。
- (株)TFエンジニアリング
  - ・ 半導体製造装置や真空ポンプに真空配管を設置する真空配管工事業。
  - ・ 真空配管のプレハブ加工業。
- ニトックス(株)
  - ・ 半導体工場の建設時に、建物の消火設備や消火用配管を設置する消火設備工事業。



## ◆ 北海道の半導体工場に係る当社グループ3社のスケジュール

|           | 北海道の半導体工場                          | 当社グループ北海道工場               | テクノフレックス | TFエンジニアリング    | ニトックス           |
|-----------|------------------------------------|---------------------------|----------|---------------|-----------------|
| 2024年上期   | 建設工事進行中                            | 6月 建設工事着工                 |          | 賃貸工場で事業開始     | 北海道半導体工場の消火設備工事 |
| 2024年下期   | ↓                                  | ↓                         | 真空機器の出荷  | 装置メーカーへの出荷が先行 | ↓               |
| 2025年上期   | 建物の完成<br>↓<br>製造装置の設置<br>↓<br>操業開始 | 11月 建物の完成<br>↓<br>1月 操業開始 | ↓        | 真空配管の加工・工事    | 1月 北海道工場に合流     |
| 2025年下期以降 | ↓                                  | ↓                         |          |               |                 |

現在建設中の半導体工場(第1工場)に関するスケジュールの概要を記載しています。続いて第2工場が建設される予定ですが、現時点でスケジュールは未定です。

---

## 5. 決算説明動画のご案内

---

## 2024年12月期 第2四半期(中間期) 決算説明動画のご案内



- ◆ 2024年12月期 第2四半期(中間期) 決算説明動画の配信を、下記の通り予定しておりますので、ご案内申し上げます。

### ◆ 2024年12月期 第2四半期(中間期) 決算説明動画の概要

- 公開日時 2024年8月30日(金)17:00(予定)
- 掲載場所 当社ホームページ内のIR資料ページ
- 説明者 代表取締役社長 前島 岳

- ◆ 動画は、どなたでもご視聴いただけます。  
アナリスト・機関投資家に限定したものではありません。
- ◆ 2025年2月頃までの配信を予定しております。
- ◆ ご視聴賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



### 当社ホームページ

- トップページ <https://www.technoflex.co.jp/>
- IR資料 <https://www.technoflex.co.jp/ir/material.html>

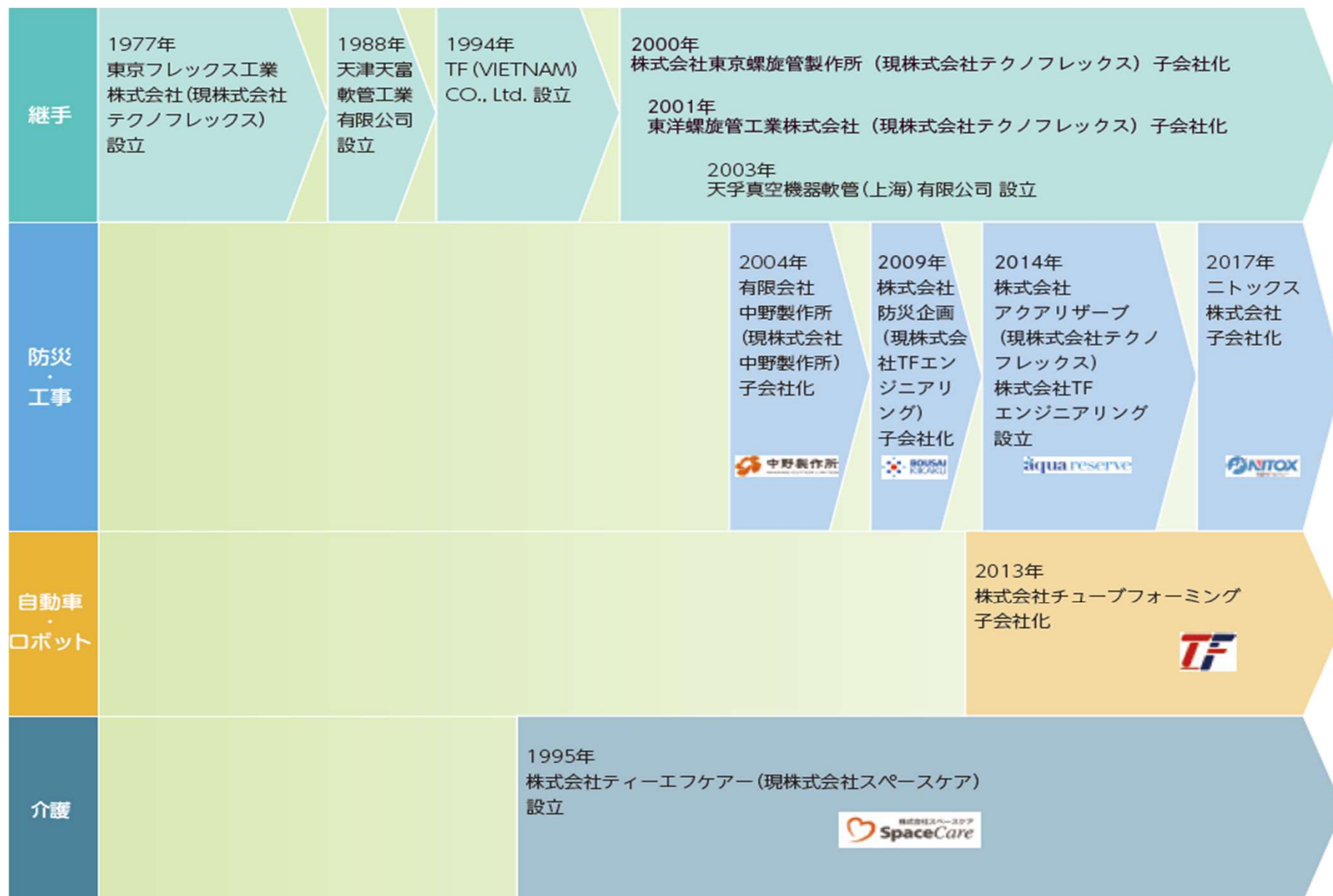


---

## (補足資料) テクノフレックスの概要

---

|       |  |
|-------|--|
| 会社名   | 株式会社テクノフレックス                             |
| 代表者名  | 代表取締役社長 前島 岳                             |
| 本社所在地 | 東京都台東区蔵前一丁目5番1号                          |
| 資本金   | 10億円(2023年12月31日現在)                      |
| 設立日   | 1977年8月                                  |
| 決算期   | 12月決算                                    |
| 事業内容  | 継手事業 / 防災・工事事業 / 自動車・ロボット事業 / 介護事業       |
| 従業員数  | 単体:368名(2023年12月31日現在) 連結:988名 ※臨時雇用者を含む |



# 皆様の生活とのかかわり



◆ テクノフレックスグループは、「生活インフラ」「産業・先端技術」「防災」「介護」の4つの分野で、皆様の暮らす社会を支える事業を展開しています。

The infographic is a central graphic with the text "TECHNOFLEX GROUP" in a white circle. It is divided into four colored quadrants representing different business segments:

- 生活インフラ (Life Infrastructure):** Teal background. Includes "水道・ガス" (Water/Gas) with an image of a truck installing an "SDFフレキ" (SDF flexible pipe) into a main water pipe, and "エネルギー" (Energy) with an image of an "H2 Station" hydrogen station.
- 産業・先端技術 (Industry/Advanced Technology):** Orange background. Includes "半導体" (Semiconductors) with an image of a "半導体工場" (Semiconductor factory), "医療機器" (Medical Equipment) with an image of an "MRI装置" (MRI device), and "自動・無人化" (Automation/Unmanned) with an image of "産業用ロボット" (Industrial robots).
- 介護 (Care):** Purple background. Includes "リフォーム" (Renovation) with an image of a hand holding a shower head, "販売・レンタル" (Sales/Rental) with an image of a "介護用ベッド・補助具" (Nursing bed/assistive device), and "リネン" (Linens) with an image of a person handling "いつも清潔な介護用品" (Always clean nursing supplies).
- 防災 (Disaster):** Green background. Includes "インテリジェントビル" (Intelligent Building) with an image of a skyscraper, "地震" (Earthquake), "風水害" (Typhoon/Flood), and "火災" (Fire) with an image of a "スプリンクラー消火設備" (Sprinkler fire equipment).

※ 上記の分野は、当社グループの事業を、皆様の生活に係る4つの分野に整理したものであり、当社の会計上の事業セグメントとは異なります。

# 当社グループの4つの事業セグメント



## ① 継手事業



## ③ 自動車・ロボット事業



## ② 防災・工事事業



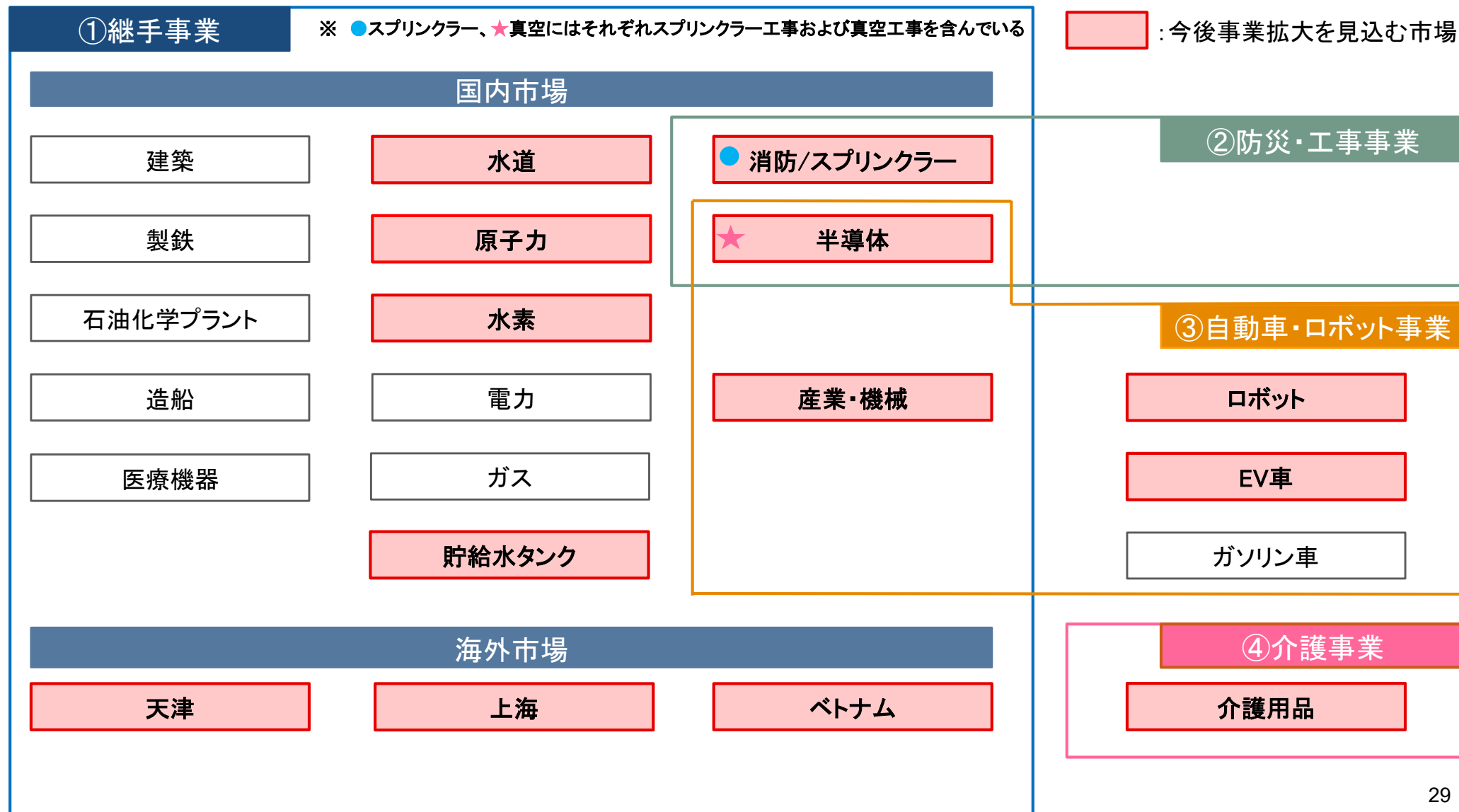
## ④ 介護事業



# マーケットと 4つの事業セグメント



- 当グループがターゲットとするマーケットは多岐にわたり、特に事業拡大を見込む市場としては消防/スプリンクラー、水道、半導体、原子力、水素、貯水タンク、EV車、ロボット、産業・機械、商品販売(介護)、海外市場が挙げられます



- ◆ 管継手 : 管と管のつなぎ目
  - 固定式 : T字型・L字型など固定形状の継手
  - 可撓式 : 継手自体が曲がったり伸び縮みしたりできる継手

テクノフレックス

◆ テクノフレックスの管継手は大きく3種類

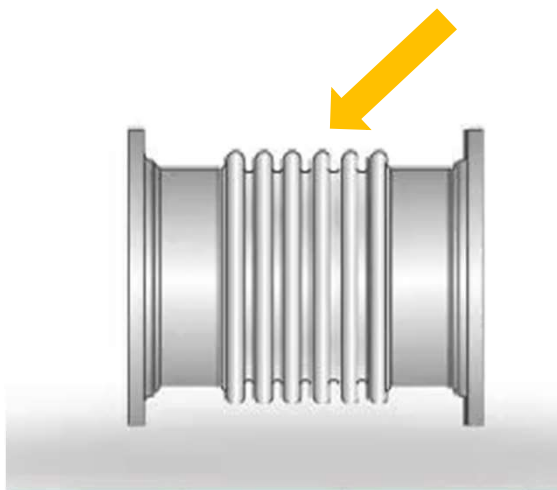
【フレキシブル継手】

全体が曲がる継手



【伸縮管継手】

波状の部分で伸縮が可能



【真空機器】

真空配管用の継手・金属部品



# 事業セグメント 1 継手事業 ①フレキシブル継手

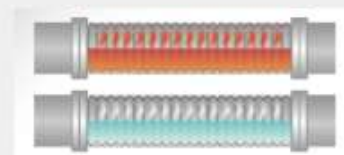
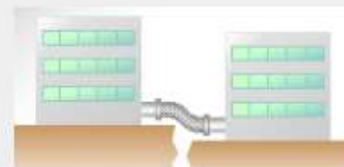


- ◆配管作業を容易に ▶ 作業効率向上。経験の浅い作業員でも設置でき、人手不足の解消にも貢献。
- ◆耐震性 ▶ 地震への対策から、耐震性の需要が高まる。

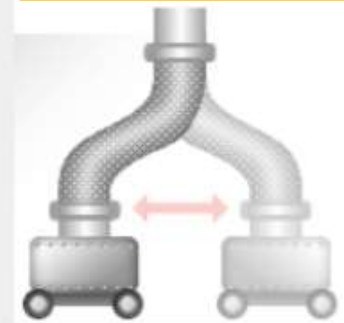
町のあちこちに  
テクノフレックス



変位吸収



機械的な動作に  
対応



振動吸収



作業効率

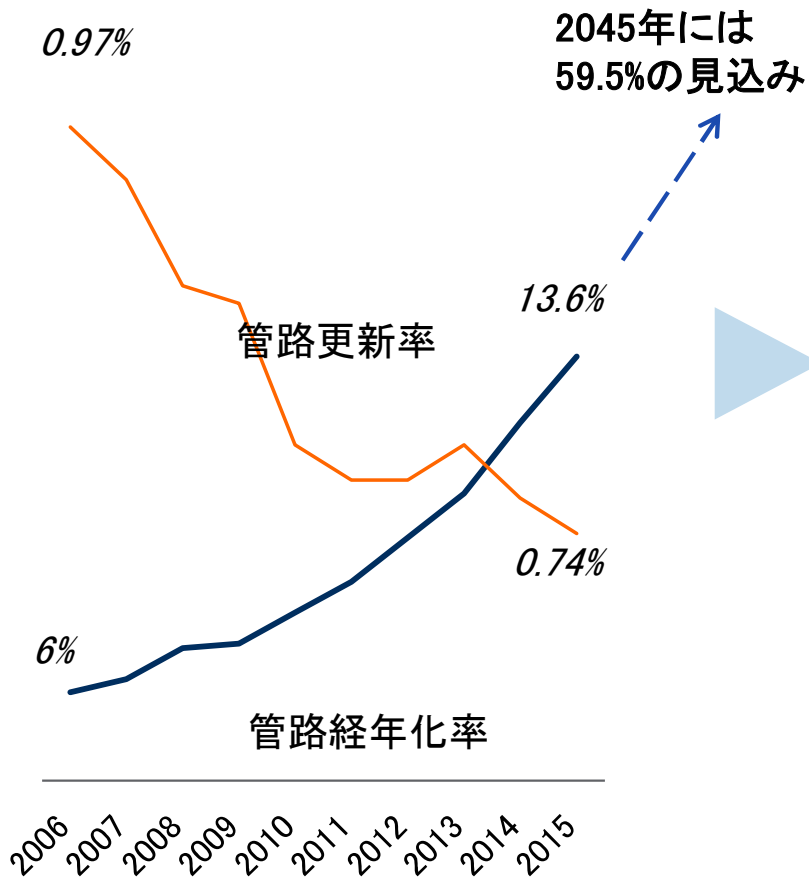


大地震で曲がっても  
オイル漏れの無い  
フレキシブル継手の例





水道の老朽化は進む一方で、  
管路更新が進んでいない。



SDF工法

- 掘り起こし困難な場所に最適。
- 既存の水道管の中を通して補修。

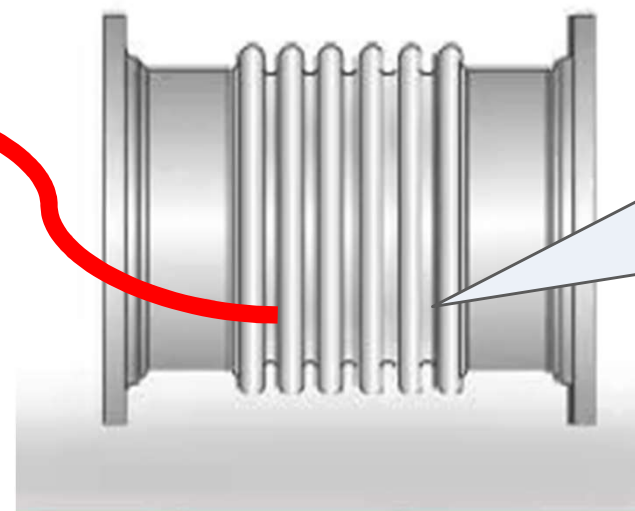
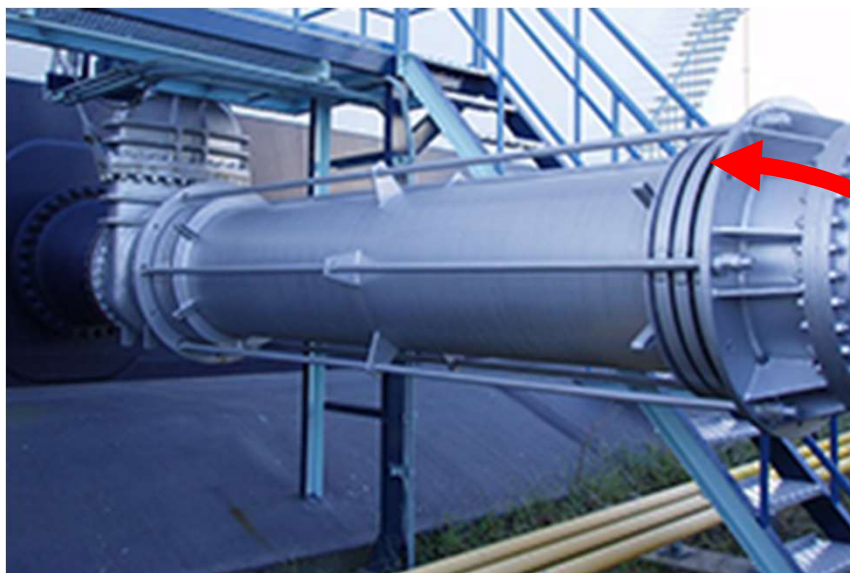


SDF工法向けにフレキ管を供給

第1回インフラメンテナンス大賞  
(厚生労働大臣賞)

- ◆ 地震や熱膨張など、様々な負荷から設備機器と配管を守ります。
- ◆ 耐震性に優れ、配管の破損や脱落による流体漏洩等の2次災害を防止。
- ◆ 設置場所

|         |   |
|---------|---|
| エネルギー関連 | 石油・化学プラント、電力プラント、LNGプラント、LNG船、水素ステーション、水素運搬船など。 |
| ライフライン  | ガス・水道など。  |
| 大規模産業設備 | 製鉄プラントなど。                                       |



波状の部分が、伸縮します。角度を付けることもできます。

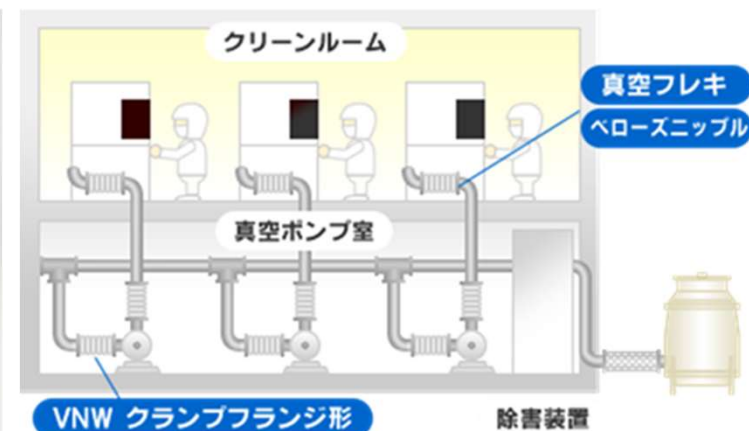
- ◆ 真空配管とは、微細なゴミも嫌う設備などに設置されるクリーンな配管のこと。
  - 真空機器の製品は、厳しい検査に合格した、気密性に優れた製品。
  - ステンレス製の継手は、組織を均一化するため、熱処理を施す。
- ◆ 製品供給に加え、配管の設置工事・プレハブ加工も一括で受けられるのが、当社の強み。
- ◆ 使用用途

半導体製造装置、FPD製造装置、真空ポンプ、医療機器、医薬品・食品工場などの機械装置

装置間の真空配管

真空ポンプの配管

データセンターや医療機器の冷却などの温度調節用配管



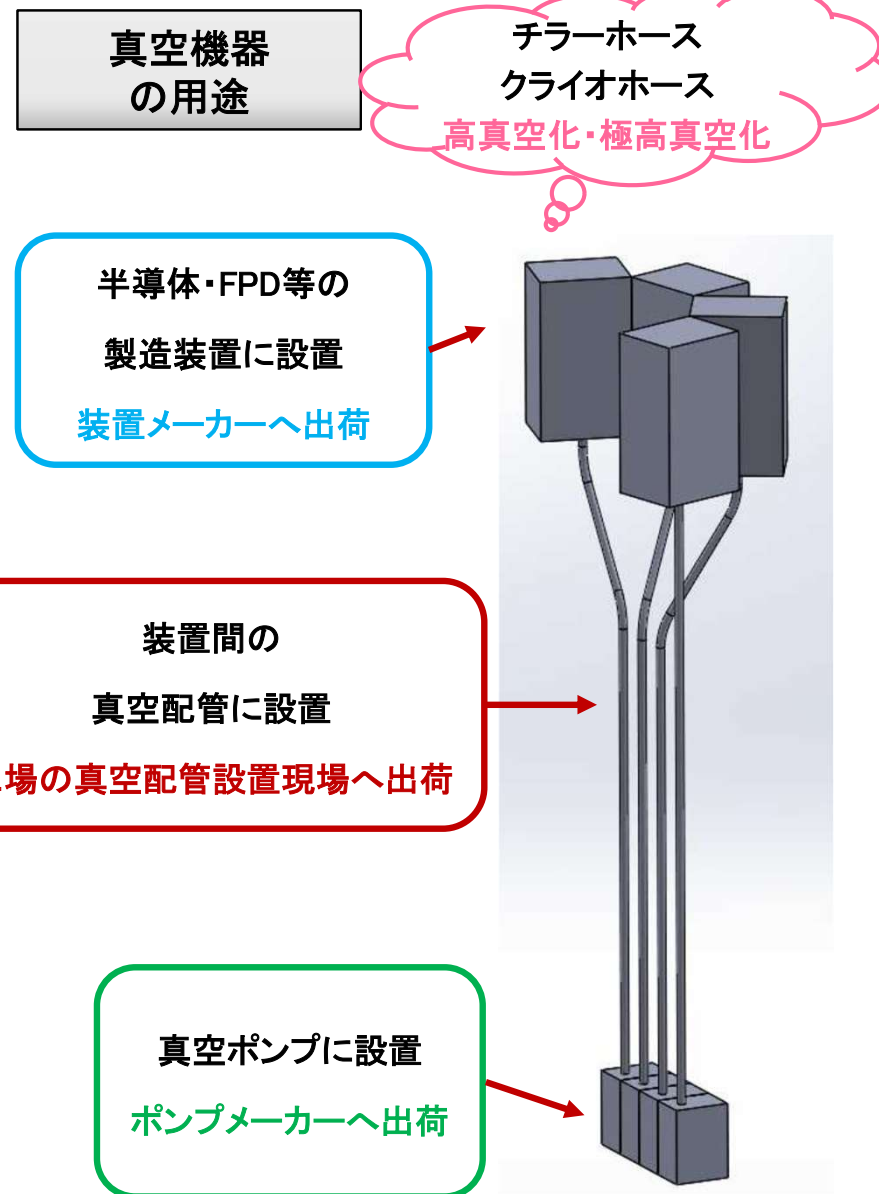
▲半導体工場内の真空配管(イメージ)

## ● 近年の状況

- ◆ 世界的な半導体需要の高まりから、半導体製造メーカーによる工場の新設や製造ラインの増設が活況。
- ◆ 半導体の製造(特に前工程)にはクリーンルーム等の真空空間が必要なため、真空ポンプと真空配管を設置。
  - **真空機器の需要が拡大。**
- ◆ 当社の真空機器は、**半導体・FPD等の製造装置用**、**真空ポンプ用**、**装置間真空配管用**の3つの用途で、使用。
- ◆ **真空配管の設置工事と工場でのプレハブ加工**も請け負っており、製品と工事の両面でサポート。

## ● 成長イメージ

- ◆ 真空配管は、半導体のみならず、様々な分野の工場で需要が増加。
- ◆ 高度な医療用の診断装置に設置。
- ◆ **チラーホース、クライオホース**のマーケットシェア獲得。
  - ※ 低温・極低温の空間をつくるための冷却用長尺ホース。加温でも使用。
  - 半導体工場等では、高真空・極高真空の空間をつくるためのクライオポンプとクリーンルームとをつなぐ配管に設置。
  - データセンターや医療機器の冷却用としても需要拡大。



### 防災用貯給水タンク「マルチアクア」

- マルチアクアは、平常時には、給水配管（水道管）の一部として機能しながら貯水を行い、災害等による断水時には、直前まで貯水されたタンク内の水道水を供給する、貯給水タンクです。
- 水道水を使うたびに、マルチアクア内に新しい水道水が貯水されます。そのため、備蓄水のように、消費期限の管理や交換を行う手間が生じません。
- 災害発生時には、飲用の他、傷口の洗浄等にも水が必要です。傷口の洗浄には水道水が適しているとされており、マルチアクアは、飲用にも傷口の洗浄にもご活用いただけます。
- 戸建住宅用には、設置場所に困らない、床下収納の開口部から床下に設置できる製品もございます。
- ペットボトル等の樹脂製容器の使用を削減する効果がございます。サステナブルな社会の実現に、貢献して参ります。



戸建住宅用には、床下収納の開口部から床下に設置できる製品もございます。

タンク内の水が循環して常に新しい水を貯水します。

企業のBCP向け製品「マルチアクアC」。



# Multi Aqua C

マルチアクア

3つの“守る”



- ◆ 配管を軸に、川下戦略による防災・工事事業への参入。
- ◆ 防災・工事事業には、2つの事業。

### 消火設備の配管工事 配管のプレハブ加工

- スプリンクラー等の消火設備の配管工事
- 工場で行う配管のプレハブ加工



自動切断機

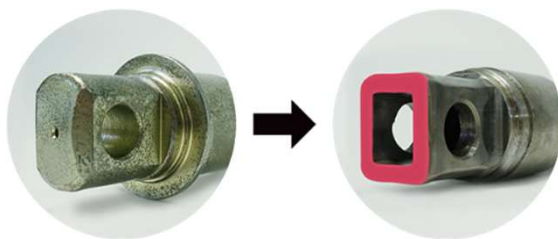
### 水道管及び電柱の 切断装置

- 自走しながら配管や電柱を切断。
- 東京都が推奨する無電柱化に貢献。



### 自動車・ロボット事業

- 金属塑性技術を生かした、金属部品の軽量化、材料費の低減及び強度増。
- 多くの自動車メーカーで使用。
- ロボット分野の需要拡大。
- 半導体工場等の機械装置用部品にも採用。



従来製品

パイプ化製品

### 介護事業

- ケアプランに沿った福祉用具レンタル
- 福祉用具の販売
- 介護用マットレスの洗浄
- 住宅バリアフリー化工事
- 介護サービスの創造



# テクノフレックスグループの将来を見据える上で重要なキーワード



■ 当グループを取り巻く環境に大きなインパクトを与える重要キーワードを5つピックアップしました

| 重要キーワード                                     | 市場にもたらす変化   | 該当セグメント                |
|---|---|------------------------|
| 1 気候変動等による災害増加に対する防災意識の高まり<br>(国土強靱化計画)     | ✓ 防災設備需要の拡大<br>✓ 国民の防災意識の高まり                                  | ✓ 継手事業<br>✓ 防災・工事事業    |
| 2 戦後日本が築いてきた社会インフラ老朽化対応<br>(水道の老朽化対応、都市再開発) | ✓ 水道整備関連の予算拡充に伴う取替需要増加<br>✓ 都市再開発に伴うビル等の建替需要増加                | ✓ 継手事業<br>✓ 防災・工事事業    |
| 3 AIと自動化<br>(5G商用化、ロボティクス)                  | ✓ 半導体市場の拡大<br>✓ ロボット市場の拡大                                     | ✓ 継手事業<br>✓ 自動車・ロボット事業 |
| 4 クリーンエネルギー<br>(脱炭素化、脱ガソリン、脱エンジン)           | ✓ エンジン搭載車の減少、EV化<br>✓ 化石燃料以外の燃料(水素等)の輸送・貯蔵<br>✓ クリーンエネルギー設備増設 | ✓ 継手事業<br>✓ 自動車・ロボット事業 |
| 5 ヘルスケア<br>(地域包括ケアシステム推進)                   | ✓ 在宅介護が支援されることによる、各家庭向けの福祉用具需要の高まり                            | ✓ 介護事業<br>✓ 自動車・ロボット事業 |



# 国内マーケットの動向サマリ(1/3)



- 産業・機械と電力は成長、製鉄、石油化学プラント、ガスは低迷を予想しています
- 建築は、中長期的には需要拡大が見込まれるものの、働き手離職等のリスクがあり、不安要素ありと評価しています

| マーケット |          | 今後5年間の動向  |
|-------|----------|---|
| 継手    | 建築       | ✓ 中長期的には都市再開発や防災対策に伴う需要を見込めるものの、働き手の大量離職等の不安要素があり下振れのリスクあり                    |
|       | 製鉄       | ✓ 主要販売先である造船・航空機について今後低迷が予想されることや、EV化により鉄の必要量が減少する可能性があり、今後の見通しは厳しい           |
|       | 石油化学プラント | ✓ 石油化学製品の供給過多やプラスチックに対する規制強化等により、石油化学業界にて積極的な設備投資を期待することは難しいため、低迷傾向が継続するリスクあり |
|       | 産業・機械    | ✓ 半導体等の成長産業での設備投資が見込まれる。<br>✓ メインユーザー層である中堅・中小企業の設備投資は冷え込む予想。                 |
|       | ガス       | ✓ 人口減少や温暖化対策等による需要減少リスクあり   |
|       | 電力       | ✓ 政府の推進する再生エネルギー導入拡大に向け、送電インフラ整備に伴う設備投資需要が見込まれることから、今後の見通しは良好                 |

## 国内マーケットの動向サマリ(2/3)

- 造船、消防・スプリンクラー、水道、半導体、水素を成長マーケットと評価しています
- 原子力は堅調予測ですが、再生エネルギーの動向次第で縮退するリスクがあり、不安要素ありと評価しています

| マーケット               | 今後5年間の動向   |
|---------------------|--|
| 継手<br>造船            | ✓ 水素運搬船の実用化に向けた研究・開発が進んでおり、今後の見通しは良好   |
| 継手<br>消防<br>スプリンクラー | ✓ スプリンクラー設置義務の課される大型施設の新設が引き続き見込まれること、及び過去に設置したスプリンクラーの取替需要が見込まれることから、今後の市場動向は明るい見通し |
| 継手<br>水道            | ✓ 水道管路の老朽化が進んでおり、今後の更新需要が期待される<br>✓ 成長ドライバーであるSDF工法に対する需要も今後増加見込み                    |
| 継手<br>半導体           | ✓ 半導体の市場規模は右肩上がりに成長見込み<br>✓ 政府の支援を受け国内で大規模設備投資が複数進行中。                                |
| 継手<br>原子力           | ✓ 政府による原子力活用の提言により、当面の需要は堅調予測<br>✓ 一方で再生エネルギーの成長状況により、将来的には稼働が抑えられ縮退するリスクもあり         |
| 継手<br>水素            | ✓ 水素燃料の市場規模が今後拡大していくことに伴い、今後の見通しは良好  |
| 継手<br>貯給水タンク        | ✓ 個人/法人の備蓄水に対する需要や、災害時の一時滞在施設の設置推進により、需要が継続する見込み                                     |

## 国内マーケットの動向サマリ(3/3)



- 消防設備工事、ロボット、介護事業は成長、ガソリン車は現状維持を予想しています
- EV車は成長見込みの一方、低価格化や社会インフラ整備といった課題を有するため、不安要素ありと評価しています

| マーケット           |       | 今後5年間の動向  |
|-----------------|-------|---|
|                 | 防災・工事 | <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 半導体工場、データセンターの増設により、消防設備工事が増加</li><li>✓ 都市の再開発による建物の高層化・大型化で、消防設備工事が増加</li></ul>                    |
| 自動車<br>ロボ<br>ット | ガソリン車 | <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 自動車需要は世界的に高まりを見せる一方で、EV車の割合が増加していくことから、差し当たっては緩やかな増加/横ばい傾向が予想される</li></ul>                          |
|                 | EV車   | <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 脱炭素に向けた動きもあり、今後大きく伸長する見通し</li><li>✓ 一方で低価格化や社会インフラ整備などの課題もあり、普及が遅れるリスクもあり</li></ul>                 |
|                 | ロボット  | <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 自動車を中心とした低価格化の要請に応える形で需要を大きく拡大していく見通し</li></ul>   |
|                 | 介護    | <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 少子高齢化の進行に伴い、今後の需要は引き続き伸長していく見込み</li><li>✓ 高齢者人口の増加と併せて、中国で廉価な福祉用具が流通しており、国内販売市場を開拓できる余地あり</li></ul> |